

アメリカセンダングサ

キク科，一年生

草高が1.5m以上になる大型雑草で、本県の大豆作で代表的な雑草の1つ。耐湿性が強く、水稲作後も発生する。湿潤なほ場で生育が旺盛であり、ブロックローテーション地域で発生が多い。

発生期間	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
		出芽	----->						開花結実	----->		



形態的特徴	葉は対生で、子葉は長いへら状、1葉以降は複葉で縁は粗い鋸状。茎は暗紫色で直立し、草高は1.5mに達する。そう果には棘があり、衣類等にくっつくことから「ばか」とも呼ばれる。
生態的特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・出芽期間は3月下旬～10月上旬と長い。 ・種子は湛水条件でも3年以上生存するので、水稲作後でも発生する。
化学的防除法	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌処理剤：種子・幼植物のサイズが大きいため、効果はやや劣る。 ・大豆バサグラン液剤(全面)：効果は高い。ただし繁茂すると効果が低下するので適期に散布する。処理後の日照時間が極めて少ない場合は効果が低下する。 ・アタックショット乳剤：葉斑が見られるだけで効果はない。
耕種的防除法	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆作付前不耕起処理により、当年産の種子を早期に出芽させる(3月下旬から5月にかけて高い確率で出芽する)。 ・大豆播種前湛水処理により、種子を齊一に出芽させる。 ・晩播(7月上旬)により、出芽期間を短くする。